

## 議題チーム・概要

議題チーム No. 【 4 】

チーム名		岡崎ホールディングス		メンバー人数：10人
チームメンバー	チーム参加動機	こうしていきたい/ こんなことができる etc.	あなたを表す要素/所属/職業/ キャッチフレーズ etc.	
1	丹羽 妙	京都の芸術の発展をさせたい。	京都の美術を創造できる町にしたい。	大学生。
2	美濃部竜治	ギャラリーの人の話を聞いて、京都の美術のポテンシャルを感じた。	美術のポテンシャルを上げる岡崎地区の構造を上げる	まちづくり研究学会の理事。
3	乾 明紀	芸大生が食べれてない状態を変えたい。 今の動物園の見せ方は変だと思う。	京都を新しいもの（美術）を作る都市にしたい。意義があって面白くてお金になる文化施設にしたい。	大学教員。
4	土岐利加	教育において動物に触れる大切さを伝えたい。	心の教育のために動物園で課外授業をしたい。	日本動物愛護ネットワーク会長。
5	井上翔一	芸大生が食べていけない状況を変えたい。 岡崎地区が寂しい。	しっかりと岡崎地区を変える仕組みを考える。	高校のデザイン科の教員
6	栗山文孝	日本家具が市民に認知されていない。	住環境を含めてアートを買う受け皿をつくる	家具の販売・製造を行う経営者
7	矢田佳子	京都の芸術としてのブランド力はあるのでそれを発展させたい。	京都の芸術としてのブランド力はあるのでそれを発展させたい。	アクセサリパーツを作るお店の経営者。 一方で陶芸の若手育成支援を行う。
8	山田寛仁	動物園に居る動物が見た目にかわいそうと感じている。	京都市動物園の檻の狭さを何とかしたい。	岡崎に住んでいて、以前他の美術館立ち上げに関わった。
9	八十山和代	テーマが明確で実効性があると思ったため。自身が芸術家のため美術館のテーマに興味を持った	市民に優しい美術館にしたい	竹がテーマの芸術家
10	土肥真司	岡崎に住んでいるため興味を持った	岡崎地区をもっとにぎやかな地区にしたい。	お寺の住職。お寺をイベントなどに開放し地域に根ざした活動を行う。

メインテーマ	人々の心を豊かにする地区岡崎	リーダー： 丹羽 妙
サブテーマ	動物園	サブリーダー： 土岐利加
サブテーマ	美術館	サブリーダー： 八十山和代

事務局との連絡役： 丹羽 妙

チームの連絡体制 ルールなど	週に一回議論に参加しましょう ML
-------------------	----------------------

その他	
-----	--

## 議題概要

議題チーム No. 【 4 】

<p><b>1)背景や問題の把握</b> 現状に潜む 様々な問題の発掘</p>	<p>岡崎地区は京都市の文化ゾーンとして様々な文化施設が存在する。それらは明治期の先人が京都のために先駆的な取り組みを行ってきた結果であり、全国的にも注目される施設が多い。しかし、現在は各施設の連携不足や個々の集客力などの要因で、地区として人寂しい状態にあり、京都の文化の発信が十分になされていない。</p>	
<p>目的/動機/ 何の為に？</p>	<p>大目的：岡崎地区を魅力的な場所にする事で市民、全国から人が集まるような場所に変えること。「人々の心を豊かにする地区」として岡崎地区が京都の魅力を伝え発展させる地区になること。 ※今回はその先駆けとして、京都市動物園と京都市美術館にテーマを絞って検討。 施設毎の目的 動物園：京都に自然や命の大切にする心が広がること 美術館：京都の芸術が発展すること</p>	
	<p>■美術館■</p>	<p>■動物園■</p>
<p><b>2)最終目標</b> 将来像理想像  究極の目標・理想像</p>	<p>京都市美術館が「市民に優しい美術館」になること ・今まで美術館に縁遠かった市民も京都市美術館に訪れるようになる ・芸術家を目指す人が発表・評価を受ける場所として利用すること。</p>	<p>動物園が市民に長く愛される「憩いの場・教育の場」になること。 ・子供達が命の大切さを知り、環境教育・情操教育の場になる場所。 ・街中にある動物園として市民の憩いの場所になる</p>
<p>9月時点の ゴール像・到達点</p>	<p>美術館の職員と共に目標を実現するための、新たな企画を計画する。来年度以降のスケジュールに組み込み、その企画実行に向け、準備が順調に整っている。</p>	<p>・今年度10月に策定される「新京都市動物園構想」に向け、実行可能なプランを提案すること。 ・超長期的な動物園の理想も語る</p>
<p><b>3)解決すべき課題</b>  &lt;易しい課題&gt;</p>	<p>・美術館に関わる多くの利害関係者との協議をする必要がある。 ・美術館の職員さんや市の担当課の人との継続的・深い連携体制整える。</p>	<p>・「新京都市動物園構想」素案についてよく理解し、HDとしての考えを纏めること。 ・動物園の職員さんや市の担当課人との継続的・深い連携体制整える。</p>
<p>&lt;難しい課題&gt;</p>	<p>・計画した企画を実際に実行する時は来年度以降であり、岡崎HDのメンバーがどのように関わられるのかが不明である。 ・美術館は人員・予算的に厳しい中で、計画を実行する条件が整えること。</p>	<p>・岡崎HDが描く構想に出てくるプランのうち、何が実現可能で、何が不可能なのかの判別がつきにくい。 ・当初の計画以上に費用が大きく掛かるものについての費用工面。</p>
<p><b>4)解決策</b> 課題を解決する為の方策やアイデア</p>	<p>企画面：事務棟をカフェにする/卒業制作展と大々的にプロデュースする/大学生のボランティアを利用した鑑賞教育/伝統産業の展示 ETC。 運営面：大学など研究機関と共同して省庁から予算を取ってくる/そのための団体を作る/月一回程度美術館側とディスカッションをする。</p>	<p>プラン面：美術館との垣根をはずし一体化する/植林により森の中のイメージを出す/立体展示/企業広告の利用/ETC。 運営面：「動物園大好き市民会議」や「専門委員会」の人と意見交換をする/こまめに動物園の人と連絡を取る。</p>
<p><b>5)行動計画</b>  4月~9月</p>	<p>月一回程度美術館側とディスカッションを加えながら、最終的に実行可能なものを探っていく。</p>	<p>4月5月は、新動物園構想の素案に対し、岡崎HDとしての意見を深め、6月以降、本格的に動物園とディスカッションを重ねながら、プランを固めていく。</p>
<p>その後</p>	<p>どちらも長期的な活動が必要だと考えられるので、9月以降も活動が継続する方法を検討する必要がある。</p>	